

家庭ごみ有料化の必要性について

1 ごみ減量・リサイクルに終わりはありません

本市ではこれまで、ごみの12分別収集をはじめとする様々なごみ減量・リサイクルに関する施策を展開し、市民・事業者の皆様との協働により取り組んできました。

しかしながら、平成19年度以降のごみ排出量や資源物回収量に大きな変化はなく停滞した状況が続いています。

私たちが生活していく上で、ごみの排出をなくすことは不可能であり、ごみ減量・リサイクルは継続的な取り組みです。

その歩みを止めることなく、次の段階へと進めていく必要がありますが、現行施策の継続では、これ以上のごみ減量・リサイクルの推進は難しい状況と考えます。

2 一人ひとりが取り組まなければなりません

ごみの排出量の抑制や資源物の回収量の増加を図るためには、一人ひとりの排出抑制意欲や分別意識を今以上に高める必要があります。

「家庭ごみ有料化」は、経済的インセンティブが働くことにより、一人ひとりの排出抑制意欲の向上が期待され、ごみの減量化やリサイクルに一定の効果が得られることから、現行の停滞する状況を打開するための有効な手法であると考えます。

3 将来の世代のために今すぐ取り組まなければなりません

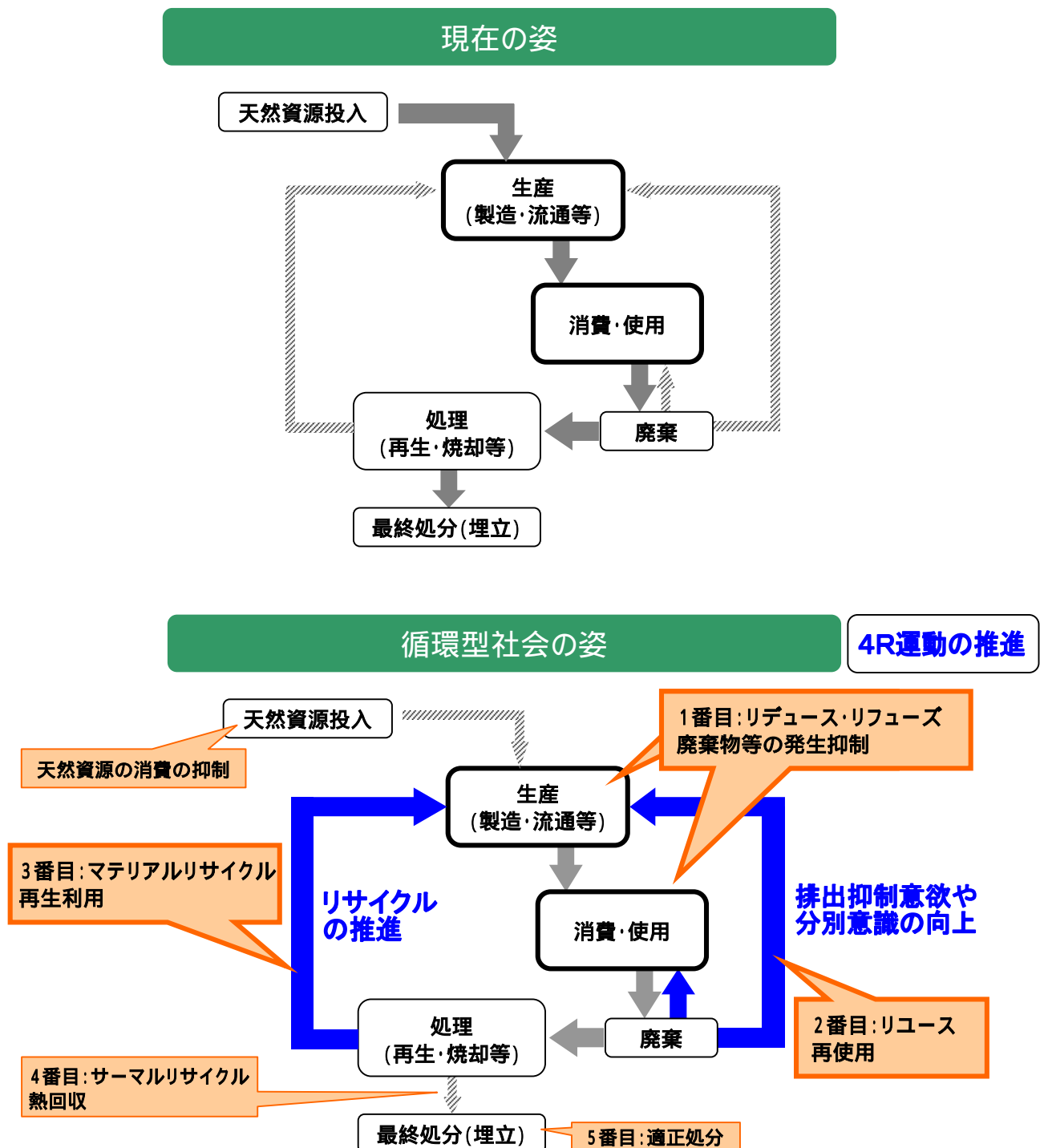
私たちはこれまで、快適で便利な生活を求めることにより、大量生産・大量消費・大量廃棄を続けてきた結果、環境に過大な負荷を与えてきました。

限りない可能性を秘めた将来の世代へ、健全で恵み豊かな環境を手渡していくためには、限りある資源を大切に、資源を有効に活かす循環型の社会づくりを、先延ばしにすることは許されない状況にあり、今からすぐに取り組まなければなりません。

4 資源が好循環する社会づくりを目指しています

私たちは、ごみ減量・リサイクルを実践することにより、限りある天然資源の消費を抑え資源が循環する社会づくりを目指しています。

「家庭ごみ有料化」は、市民の皆様のご排出抑制意欲や、分別意識の向上が今以上に高まることが期待されることから、資源の循環を加速させることができ、環境負荷の低減に大きく寄与します。



4 R 運動・・・ リデュース（ごみを発生させない） リフューズ（ごみになるものは断る）
 リユース（使えるものは繰り返し使う） リサイクル（きちんと分別して資源とする）